

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



新緑がまぶしい季節になりました。

楽しみにしていたGWも終わりましたが、皆さんは、どんな風にお過ごしになりましたか？

コロナの感染力がやっと衰えてきた今年のGWには、多くの方たちが旅行などを楽しまれたようです。

各交通機関や高速道路の混雑、観光地の賑わいも久し振りに目にしましたが、嬉しいことです。

このまま穏やかな日常が戻ることを期待しますが、マスクの必要性が完全に消えるまでは、もう少し時間がかかりそうです。



忘れかけていた何気ない幸せの時を思いつつ、日々大切に過ごしましょう。無理をせず、どうぞ、お元気で！

快適な生活をするために (8)

前回に引き続き、皆さんに長く安全に過ごしていただくための住まいを長持ちさせるメンテナンスやチェックポイントなどをお伝えしたいと思います。

【天井（照明器具の落下）】

室内を豪華に演出するシャンデリアなどの重量がある照明器具は、重みで落下する恐れがありますので、天井の耐えられる重さを確認して取り付けて下さい。

【床（重量家具の設置）】

大型ピアノなどの重量家具を置いたために、床を支えている梁や根太が大きいたわみ、建具の開閉に支障を生じることがありますので気をつけましょう。



書棚一段（巾約90cm）の本の重さは15kg～20kgで、5段の本棚では75kg～100kgにもなります。

読書好きな方は、ご注意ください。

また、ピアノの重さはアップライトで200kg～250kg、グランドピアノで300kg～600kgにもなります。



建築する際に予定していなかった重量家具を置く場合には、片側に集中しないよう配置するようにし、また、心配な時は床の補強が必要かどうかを専門の業者にご相談下さい。

【カーペット】

日常の掃除の際は、電気掃除機を毛並みにそってかけて下さい。



糸くずや髪の毛などは、市販の粘着ローラーや洋服用のエチケットブラシを利用しましょう。

カーペットはダニが発生しやすいので、2～3年に一度はクリーニングをし、6～10年で敷き替えをして下さい。

もし、シミをつけてしまったら、内部に染み込んで乾かないよう早く取るようにしましょう。

固く絞った雑巾で、汚れの外側から内側にむけてたたくようにして拭きます。

無理にこすると、かえって汚れが広がってしまうので注意が必要です。

次号に続く

「旬（しゅん）」

昔から旬を大切にしてきたのは、おいしさや季節感を堪能できるだけでなく、旬の食べ物には力があることを知っていたからです。たとえば、春の山菜は代謝を促し冬の体を起こす、夏野菜は体を冷やし、秋の実りは体を肥やし、冬野菜は体を温めるなど、旬のものを味わうことで自然に体調が整うため、旬を大事にすることは理に適っているのです。

また、旬の期間は食材により異なりますが、旬のものをひとくりにしないのが日本人の繊細なところです。

旬を時期で「走り」「盛り」「名残り」の3つに分け走りを楽しみ、盛りを堪能して、移りゆく季節の名残りを惜しむ、というように旬を味わいます。



ア・ナ・タへ



私は、自分がどんなに辛くても、腰が痛くても、頭が痛くても、苦しくても・・・アナタが元気になってくれるのが、すご〜く嬉しいの。

元気そうなアナタの姿を見たり、声を聞いているとね、本当に嬉しい。

別に感謝してくれたり、無理に気にかけてくれたりしなくていいの。

苦勞して育てた自分の子供が、自分自身の足で立って、人生を真っ直ぐ歩んでくれることが何より嬉しいのです。

悩んだり、行き詰まっているアナタを見るのは本当に辛い。

何とかしてあげたい、どうにかしてあげたいのだけれど・・・私じゃ何にもしてあげられないもどかしさ。

時々、余計な口出しをしちゃって、後悔することもある。

アナタには、アナタの考えがちゃ〜んとあるのにね。

でも、ただ黙って見守ることだけしかできないのは辛いし、苦しんでいる姿を見ると心が張り裂けそうになる。

親なのに、なんでこんなにも何もしようがないんだろうって・・・情けなくなるのよ。

今、楽しいアナタへ。

アナタが楽しく生きているという事実が、お母さんの生きがいです。

今、苦しいアナタへ。

何もしようがないなんてごめんなさい。

頼りなくて本当にごめんなさい。

でも、辛くても生き抜いてください！

お願いだから、決して自暴自棄になったり、自分を卑下したりしないでください。

生きる場所は必ずあります。

生きる道は必ずあります。



アナタが、もがいて、もがいて・・・

そこに辿り着くことを毎日祈っています。

そして、もしも私にできることが何かあるのなら、どうか言ってください。

頼りないお母さんかもしれないけれど、私は、いつでもアナタの味方です！！

5月14日は、「母の日」でしたね。

いつも遠くから静かに見守ってくれているお母さんへ、皆さんは、どんな形で感謝の思いを伝えたのでしょうか？

普段は、照れくさくて、なかなか口にできないけれど、



「お母さん、いつもありがとう。

そして、これからもよろしく！」

「編集後記」

さわやかな青空のもと、木洩れ日も美しく、すがすがしい季節の訪れです。

この時期は、お出かけが楽しみです、コロナ感染が完全に終息したわけではありませんので、引き続き体調管理をしっかりしましょう。

さて、今年の母の日、皆さんはお母さんへの思いをどのように伝えたのでしょうか？

私は既に母を亡くしているため、直接感謝の言葉を伝えることはできませんが、墓前にお花を供えてきました。

目には見えないけれど、いつも大きな愛に包まれているように感じます。皆さんもお母さんを大切にしてください。

今月号もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子